

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜各務野高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月16日(木) 13:30~15:50
- 3 開催場所 岐阜各務野高等学校マナー実習室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会長	大平 和子	各務原市立鵜沼第二小学校 校長
副会長	山口 貴江	鵜沼西保育所 園長
委員	卯野 仁志	元各務原区長
	下田 未歩	各務原商工会議所青年部 事務局長
	長縄 康浩	フェニックス総合クリニック 副院長
	林 克幸	サン・ビジョンジョイフル各務原 施設長
	廣瀬 真一	公益財団法人かかみがはら未来文化財団 事業推進グループ長
	星山 道弘	株式会社 日本温浴研究所
	若原 隆司	令和6年度PTA会長
	細田 麗香	令和6年度PTA副会長
学校側	野田 正明	校長
	浅井 智世	教頭
	加藤 講平	教頭
	柳原 英紀	事務長
	鈴木 雅雄	教務部長
	丹羽 智之	生徒支援部長
	鹿野 知幸	進路支援部長
	上野 豪史	特別活動部長
	秋田 寛	ビジネス科主任
	後藤 誠司	情報科主任
	石樽 裕加	福祉科主任
	宮本 崇義	教務部記録係

### 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 教育指導の重点及び学校経営計画、学校運営機構、スクール・ミッションの策定について  
質疑応答なし、全会一致で承認された。
- (2) 各学科の具体的な教育活動の指導方針について  
卒業生の進路状況、部活動の主な成績について  
意見1：商品の販売は、サービスを学ぶ上ではとてもよいが、興味のある生徒に対しては  
商品づくりについても教えられるとよい。  
意見2：かかみの未来プロジェクト等、先進的な取組みを楽しみにしている。  
意見3：他校とは異なり、本校は各学科いずれも地域との親和性が高い。福祉施設等にと  
どまらず、地域にアウトリーチできるようにしてほしい。  
意見4：スクール・ミッションの策定にあたって、本校に期待される社会的役割は、かか

みの未来プロジェクトや地域連携に基づいて取り組んでいくことではないか。

意見5：対外的にブランディングすることは、入学を志望する生徒が増える要因になり、生徒にプライドが育まれることにつながる。

意見6：就職状況について、主に製造業への就職が多いのか。

⇒地元志向が強く、各務原市の産業は航空機に関する部品製造の工場が多いため、生産技術職への就職が多い状況となっている。

意見7：介護福祉士の資格について、実社会に接していないと理解が難しい科目もあり、全員合格はすばらしい。

### (3) 授業の様子・評価等について

意見1：自らあいさつをする生徒が増えている。

意見2：生徒たちが楽しそうに授業を受けている様子で、雰囲気が良い。

意見3：単なる一斉授業ではなく、学習指導要領に沿った授業展開がされており評価できる。

意見4：生徒は非常に落ち着いている。自分のやりたい学習以外の内容にも意欲的に取り組んでいる姿が印象的であった。

意見5：情報科の生徒が動画編集ソフトの使い方をインターネットで調べていた。課題解決のプロセスも大切であり、生成AI等が普及しつつある現在、調べる力、分析力、0から1を生み出す力が実社会で求められる。

意見6：ニュース報道では、教員の労働時間が長時間化する傾向にあるとのこと。電子白板やタブレット端末等のICT活用によって、教員の負担は減っているのか。

⇒効率化はされているが、長時間労働が減っているかは一概に言えない。自動採点システムの活用等で退勤時間は早くなる傾向にある。

意見7：この学習をしたいから本校を選ぶという志望の動機付けになるよう、実際に学習している生徒の声が反映される広報活動ができるとよい。

意見8：高等学校を卒業して就職した社員の離職が多いと聞く。就職した企業で長く勤務する意志をもって就職に臨むとよい。特に、福祉関係に就職する場合には、心理学についての学習をしておくるとよい。

意見9：タブレット端末が導入され、教員が教えやすい環境になっている一方で、生徒にはVDT症候群に注意をさせてほしい。

意見10：教室にある生徒の荷物が多く、大型化・多量化している印象がある。法令等の範囲内で荷物置き場を設置できると、生徒の学習環境がよくなるのではないかな。

意見11：高校生となり、親子の会話が少なくなった家庭もあると思われるため、今回参観した様子等を他の保護者にも伝えたい。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

今年度は、地域連携事業が本格化することをふまえ、専門学科が3科あるという特色を生かしつつ、本校に期待される社会的役割等を明らかにして、スクール・ミッションの策定を行っていきたい。

委員からの意見・提言を令和6年度の学校運営に生かしていく。